

# ◆73◆ 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日

## 日本ピグメント株式会社

Pigment

### 日本ピグメント株式会社

〒101-0044

東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号

TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418



ミックス品

FSC認証林及び管理された森林からの製品グループです  
www.fsc.org Cert no. SA-COC-1442  
© 1996 Forest Stewardship Council



この報告書は、環境に配慮し、大豆油インキを使用しています。  
使用されている用紙は、適切に管理された森林からの生産物です。適切に管理された森林とは、FSC（森林管理協会）の規定に従い、独立した機関により認証された森林を指します。

株主の皆様へ >>> 02  
 事業紹介 >>> 03  
 製品紹介 >>> 04  
 部門別営業の概況(連結) >>> 05  
 中間連結財務諸表 >>> 06  
 株式・会社の概要 >>> 08  
 ご案内 >>> 10  
 国内拠点 >>> 11  
 海外拠点 >>> 12  
 株主メモ >>> 13

# ゆとりは、色彩から一。

私たちのすむ日本には四季の色があり、  
 私たちはこの豊かな色彩に包まれて生活しています。  
 私ども日本ピグメントは、この豊かな色彩を再現し、皆様に“夢  
 と希望”を提供できるよう、  
 色彩について日々研究開発に努力しております。  
 日本ピグメントの製品は、日常生活のあらゆる場面で、  
 “豊かな色彩とゆとり”を皆様に提供しております。

## 株主の皆様へ



取締役社長 浅羽 幸夫

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、第73期上半期(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の営業の概況等についてご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、原油価格の世界的高騰に歯止めがかかるも、米国発の金融危機が世界の実体経済に波及するなか、外需の低迷が内需の足を引っ張る形で景気の停滞感が強まる展開となっております。

当業界におきましては、主要ユーザーである自動車業界が米国市場の低迷等により、需要が減少しており、今

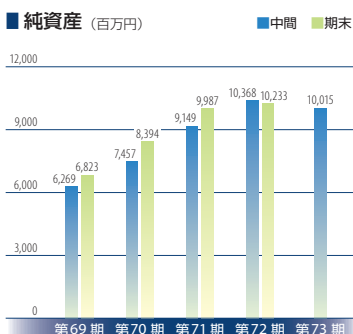
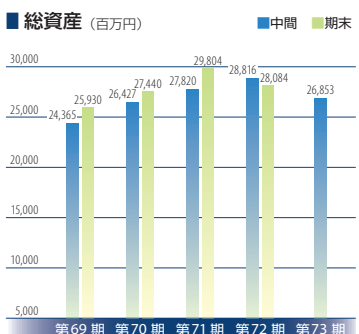
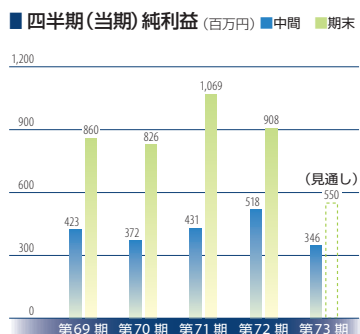
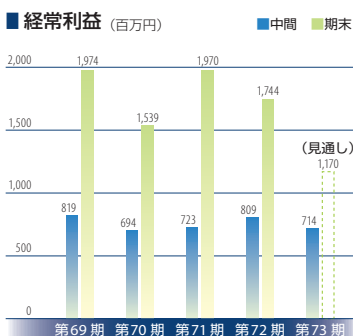
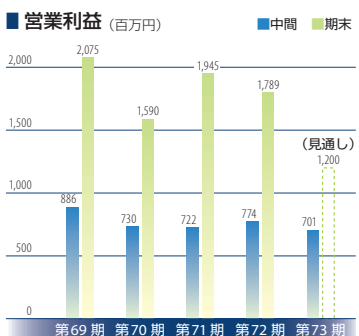
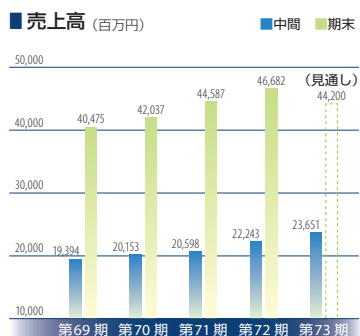
後更なる環境の悪化が懸念される状況です。

こうしたなか当社グループでは、引き続き拡販に努めるとともにコスト削減、生産性向上に取り組んでまいりましたが、原材料価格の高騰が続かなかで価格競争も激しく、収益面では大変厳しい状況が続いております。このような結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は23,651百万円となり、経常利益は714百万円、四半期純利益は346百万円となりました。

今後、企業を取り巻く環境が目まぐるしく変化していくなかで、企業成長へ向けた投資を行っていく一方、株主様への利益還元により企業価値の向上に努めてまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月  
 取締役社長 浅羽 幸夫

### 財務ハイライト(連結)



※第69～72期における中間の純利益は中間純利益です。



## “豊かな色彩とゆとり”を、 日常生活のあらゆる場面に提供しています。

私ども日本ピグメントは、“色”の専門メーカーとして、創業以来、主にプラスチックの着色分野において、日常生活のあらゆる場面で“豊かな色彩とゆとり”を提供しております。私たちの身の回りには、自動車、家電、OA機器、日用品、化粧品など数え切れないほどのプラスチックを使った製品があります。



## 日本ピグメントの強み ～長年蓄積された高度な技術と、高品質へのこだわり～

当社は、お客様の色彩ニーズの満足度向上、品質の維持・向上への追求から自社、グループ内での製造にこだわってまいりました。

このこだわりによって蓄積した、当社独自の着色剤および添加剤の選定・配合技術、コアテクノロジーである高度な分散技術、お客様に満足を提供するための生産

当社は主に、樹脂コンパウンドの分野でプラスチックの成形用材料や着色剤の提供を行っております。当社のカラー化技術は、それらの製品にとって、機能・デザインとともに重要な役割を担っております。

技術などのノウハウが、コア・コンピタンスの源泉となっております。

特に分散技術においては、微細化が要求されるカラーフィルター用、インクジェット用などの液体分散体分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させる等、高度な技術を駆使し、さまざまな液体分散体を提供するなど、先端分野にも貢献しております。

## 樹脂コンパウンド

樹脂コンパウンドとはプラスチックの成形用材料のことで、当社では、最終製品メーカーなどのお客様のご要望に合わせ、合成樹脂に当社独自の技術で着色・高機能化を図り、お客様に提供しております。

樹脂コンパウンドは、お客様のニーズに応じたプラスチックの色・機能に設計しているため、そのまま成形できるという利点があり、主に自動車、家電製品、家庭用品など様々な分野で使用されております。当社では、汎用的な製品から高機能製品まで提供しております。

## 樹脂用着色剤

樹脂用着色剤は、最終製品メーカーなどのお客様にて合成樹脂を着色するためのものであり、お客様のニーズに合わせて、主に加工顔料・マスターバッチを提供しております。

加工顔料は、顔料の分散性などの問題点を改良し、樹脂への着色のしやすさを配慮した顔料であり、マスターバッチは、プラスチックに高濃度の着色剤を練りこみ、プラスチックの成形時に規定の倍率で希釈する樹脂用着色剤です。当社では、自動車関連、家電、日用品、化粧品向けなどのあらゆる分野において、汎用的な製品から紫外線吸収・難燃性などの機能を併せ持った製品まで、お客様の様々なニーズに応じた製品を提供しております。

## ピグメントカラー

プラスチック、インキ等に使用される着色剤には顔料や染料があり、お客様のニーズに応じた製品を提供しております。顔料は水や溶剤・油などに不溶で、プラスチックなどに微粒子で分散させることで着色します。一方、染料は水や溶剤・油などに可溶で、プラスチックなどに溶解することで着色し主に綿・毛・皮革・ナイロンなどの繊維の染色に使用されています。

## インキ・塗料

壁紙、金属、紙関係など多様な用途に適したインキ・塗料を提供しております。なかでも、壁紙用インキでは、環境対策を施した製品設計となっております。

## 高分散型液体分散体

当社では、コア技術の高分散技術、多様な配合技術を連結させた研究開発に取り組んでおり、そのノウハウを活用することで、お客様のご要望に沿った高品質な高分散型液体分散体を提供しております。

主にカラーフィルター用、インクジェット用などの油性タイプの顔料分散体や、環境負荷の少ない水性インキおよびそのメジウム（希釈剤）などの水性タイプの顔料分散体も取扱っております。

特に微細化が要求される当分野では、粒子をナノレベルまで微細化・分散させる等の当社の強みを駆使し、先端分野にも貢献しております。

※「分散」とは、樹脂中に顔料が溶けずに均等に散らばらせること等を言います。



### 樹脂コンパウンド部門

当部門においては、主要ユーザーの海外展開に伴う国内需要の伸び悩みが続くなか、競争の激化から、価格面では引き続き厳しい環境にあります。こうしたなか、国内においては、情報機器関連が比較的堅調であったものの、自動車関連、家電向けは夏場以降低調な展開となっております。一方、海外では、東南アジアが引き続き堅調を維持しております。このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 19,306百万円となりました。



### 樹脂用着色剤部門

当部門においては、自動車関連、家電、日用品および化粧品向けの拡販により概ね堅調でしたが、一部の情報機器関連が当初の予想を大きく下回る結果となりました。また、価格転嫁に努めたものの、原材料価格の高騰が続き、収益面では引き続き厳しい状況となりました。このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 2,883百万円となりました。



### 加工カラー部門

当部門は、既に市場自体が成熟しており、今後の高い成長が望めなくなっております。こうしたなか、建材関係向けの販売不振などにより、引き続き厳しい事業環境となっております。また、原料価格の高騰も大きく収益面を圧迫しております。このような結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 1,378百万円となりました。



### 四半期連結貸借対照表

(単位 千円)

科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	科目	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
流動資産	14,138,742	流動負債	13,257,889
現金及び預金	2,160,356	支払手形及び買掛金	7,071,523
受取手形及び売掛金	8,059,275	短期借入金	4,118,825
製品	1,725,985	未払法人税等	504,063
原材料	1,480,364	賞与引当金	286,210
貯蔵品	40,860	その他	1,277,265
その他	679,320	固定負債	3,580,130
貸倒引当金	△ 7,419	社債	294,880
		長期借入金	2,400,882
固定資産	12,715,070	繰延税金負債	704,381
有形固定資産	9,646,266	役員退職慰労引当金	179,987
建物及び構築物	4,112,080	負債合計	16,838,019
土地	3,521,705		
その他	2,012,480	<b>(純資産の部)</b>	
無形固定資産	49,362	株主資本	9,492,340
投資その他の資産	3,019,441	資本金	1,481,159
投資有価証券	2,640,959	資本剰余金	1,047,770
その他	458,067	利益剰余金	6,975,864
貸倒引当金	△ 79,584	自己株式	△ 12,455
資産合計	26,853,813	評価・換算差額等	△ 39,696
		その他有価証券評価差額金	429,537
		為替換算調整勘定	△ 469,234
		少数株主持分	563,150
		純資産合計	10,015,794
		負債純資産合計	26,853,813

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結損益計算書

(単位 千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	23,651,299
売上原価	21,429,687
売上総利益	2,221,612
販売費及び一般管理費	1,520,466
人件費	579,701
賞与引当金繰入額	86,631
退職給付費用	21,960
役員退職慰労引当金繰入額	12,516
その他	819,657
営業利益	701,145
営業外収益	142,050
受取利息	4,370
受取配当金	30,104
持分法による投資利益	36,492
スクラップ売却代金	24,306
その他	46,776
営業外費用	128,916
支払利息	80,437
その他	48,479
経常利益	714,279
特別利益	8,984
固定資産売却益	5,229
貸倒引当金戻入額	3,755
特別損失	104,458
固定資産除売却損	13,366
投資有価証券評価損	56,981
関係会社株式売却損	34,110
税金等調整前四半期純利益	618,805
法人税、住民税及び事業税	322,198
法人税等調整額	△ 59,012
法人税等合計	263,186
少数株主利益	9,474
四半期純利益	346,144

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位 千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	974,276
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 249,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 672,612
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5,044
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	47,363
現金及び現金同等物の期首残高	1,495,292
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,542,656

(注)記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

● 株式の状況

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式総数 15,758,994株
- 株主数 1,812名

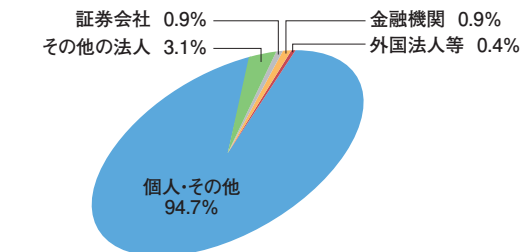
● 大株主の状況 (上位10名)

大株主	当社への出資状況	
	持株数(千株)	出資比率(%)
日本ピグメント取引先持株株式会社みずほ銀行	899	5.70
株式会社十六銀行	780	4.95
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	698	4.43
株式会社みずほコーポレート銀行	638	4.05
日本化薬株式会社	610	3.87
東京海上日動火災保険株式会社	519	3.30
株式会社資生堂	492	3.13
株式会社三菱東京UFJ銀行	492	3.12
株式会社ビアンコー	468	2.97
	442	2.80

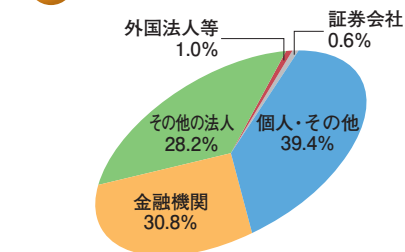
● 概要

会社名 日本ピグメント株式会社  
(Nippon Pigment Company Limited)  
本社所在地 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号  
代表者 取締役社長 浅羽 幸夫  
創業 1925年(大正14年)  
事業内容 樹脂コンパウンド…プラスチック成形用材料  
樹脂用着色剤…プラスチック着色剤  
加工カラー…塩化ビニール着色剤等  
ピグメントカラー…塗料用、印刷インキ用等  
資本金 14億8,115万円  
株式 東京証券取引所 市場第二部上場

● 所有者別株主比率



● 所有者別株式比率



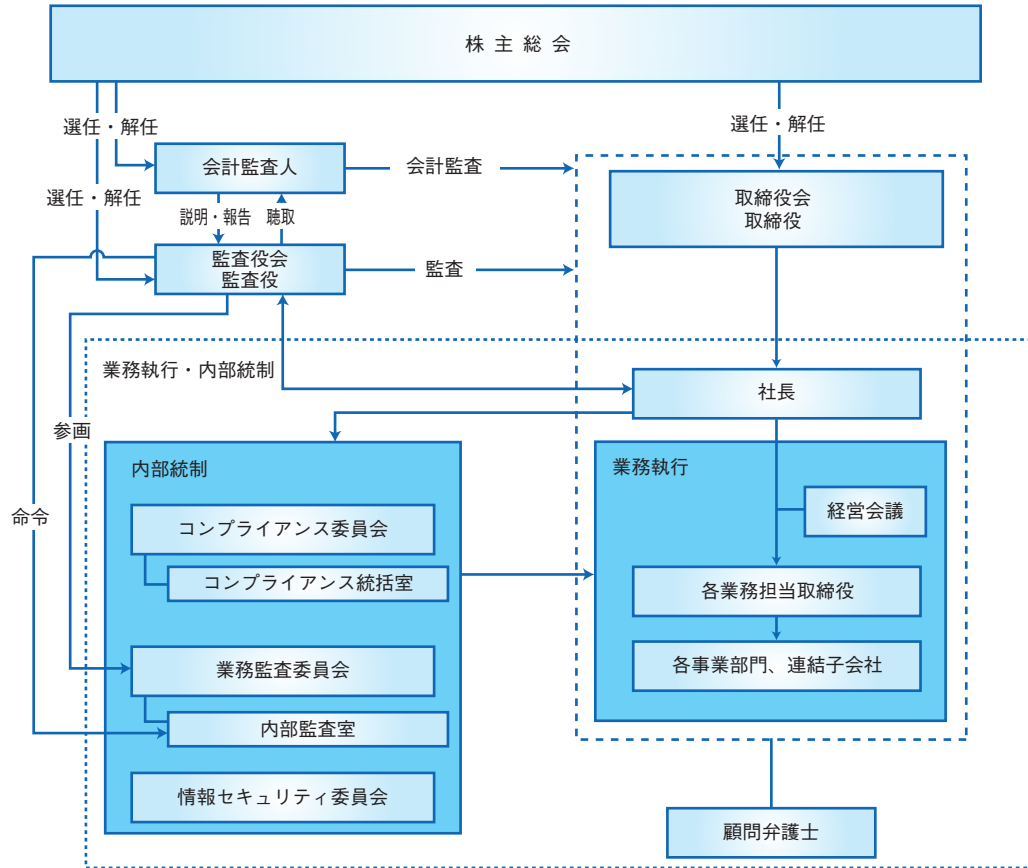
● 役員

代表取締役(取締役社長)	浅羽 幸夫
代表取締役(取締役副社長)	島崎 満
常務取締役(営業本部長)	小林 稔
常務取締役(生産本部長)	石井 繁雄
取締役(営業本部副本部長)	赤井 祀充
取締役(総務部経理部担当システム部長)	上野 章
取締役(法務担当)	井手 讓司
取締役(開発本部長兼営業本部副本部長)	配島 栄一
取締役(生産本部副本部長兼埼玉工場長)	加藤 龍巳
監査役(常勤)	佐藤 恒夫
監査役(常勤)	柏木 謙吉
監査役	妹尾 正威
監査役	小池 敏彦

● コーポレートガバナンスの状況

当社は、経営の健全性・透明性を高めるため公正な経営の実現を重要課題としており、株主・投資家の皆様の信頼に応えるため、最適なコーポレートガバナンスの整備・構築を目指しております。

なお、当社のコーポレートガバナンスの体制は、以下のとおりです。



当社ホームページのご案内

当社では、株主・投資家の皆様向けのIR情報をはじめ、企業情報、製品情報などについてお知らせするホームページを開設しています。是非、ご覧ください。



IRの一環として、当社事業内容の理解促進をさせていただくために、「個人投資家の皆様へ」のページに、あらたに「日本ピグメントを知る」のページを掲載しました。ぜひ、ご覧ください。

国内事業所

■ 本社

本社  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番14号  
TEL. 03-3258-1412 FAX. 03-3258-1418

■ 営業部門

東京支店  
〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町一丁目9番16号  
(丸石第二ビル)

大阪支店  
〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目7番10号  
(扶桑道修町ビル)

名古屋支店  
〒464-0075 名古屋市中種区内山三丁目8番10号  
(明治安田生命今池内山ビル)

■ 生産部門

埼玉川本工場  
〒369-1106 埼玉県深谷市白草台2909番地52

大阪工場  
〒582-0029 大阪府柏原市石川町1番23号



国内グループ会社

■ 生産部門

東京ピグメント株式会社  
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201番地11

ニッピ化成株式会社  
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原201番地11

日本プリントインキ株式会社  
〒360-0005 埼玉県熊谷市今井1035

名古屋ピグメント株式会社  
〒484-0952 愛知県犬山市上舞台62番地の1

大阪ピグメント株式会社  
〒639-1031 奈良県大和郡山市今国府町6番地11

三和カラーリング株式会社  
〒360-0844 埼玉県熊谷市御稜威ヶ原代の上138番6

海外

Nippon Pigment (S) Pte.Ltd.	1Pioneer Place Singapore 627866
Nippon Pigment (M) Sdn.Bhd. [Head Office and Penang Plant]	NO. 2479, MK1, Lorong Perusahaan 8b, Prai Industrial Estate 13600 Prai, Penang, Malaysia
Nippon Pigment (M) Sdn.Bhd. [Shah Alam Plant]	PT14533, Jalan Jenjarum 28/39A, Seksyen 28, 40400 Shah Alam, Selangor Darul Ehsan, Malaysia
P.T.Nippisun Indonesia	1-1 block I. Kawasan Industri MM2100 Cibitung Bekasi 17520 West Java Indonesia
天津碧美特工程塑料有限公司 Tianjin Pigment Engineering Plastics Co.,Ltd.	G1 Hongtai Industrial Estate, No.78, Taihua Rd, TEDA Dist, Tianjin, 300457, China
NPK Co.,Ltd. [Kumi Plant]	623-14, Kupo Dong, Kumi City, Kyeong Buk, Korea



- 証券コード 4119
- 単元株式数 1,000株
- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月中
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
- 同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
(下記ご注意ご参照)

#### 【株式に関するお手続き用紙のご請求について】

株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下の三菱UFJ信託銀行のホームページおよび電話で24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。

TEL 0120-244-479 (通話料無料)  
インターネットアドレス <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

- 単元未満株式買取手数料、および買増手数料

無料

- 上場取引所 東京証券取引所 市場第二部
- 公告掲載方法 公告掲載方法は、電子公告とし当社ホームページに掲載いたします。  
当社ホームページアドレス  
<http://www.pigment.co.jp/>  
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告することができない場合には、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化実施後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の本支店でお支払いいたします。

## 【平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ】

### 1. 特別口座について

#### (1) 特別口座への口座残高の記帳

株券保管振替制度をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は三菱UFJ信託銀行に開設される特別口座に記録されます（平成21年1月26日（月）に記録される予定です。）。なお、特別口座に記録された株式数等のご案内は、平成21年2月中旬頃に、三菱UFJ信託銀行から、お届けのご住所宛にお送りする予定です。

#### (2) 特別口座に記録された株式に関するお手続き

特別口座に記録された株式に関するお手続き（株主様の口座への振替請求・単元未満株式買取（買増）請求・お届出住所の変更・配当金の振込指定等）につきましては、株券電子化実施後、下記口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）の連絡先にお問い合わせください。なお、特別口座に記録された株主様のお手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお取次ぎいたします。

#### (3) 特別口座の口座管理機関および連絡先

特別口座の口座管理機関は、当社株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行となります。

口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711 (通話料無料)

#### (4) 特別口座の口座管理機関でのお手続きの受付の開始時期

特別口座に記録された株式についての、株主の口座への振替請求、単元未満株式買取（買増）請求等の各種ご請求やお届出につきましては、平成21年1月26日（月）以降にお手続きが可能となりますので、ご注意ください。

### 2. 株券電子化実施の前後における単元未満株式買取・買増のご請求について

株券電子化実施の前後においては、単元未満株式買取請求ならびに買増請求につきまして、次のとおりとなりますので、ご注意ください。

#### (1) 株券保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求

##### ①単元未満株式買取請求

平成21年1月5日（月）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。  
また、平成20年12月25日（木）から平成20年12月30日（火）までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日（金）とさせていただきます。

##### ②単元未満株式買増請求

平成20年12月12日（金）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。

#### (2) 株券保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。

具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

### 3. 株主様のご住所およびお名前のご登録について

株主様のご住所およびお名前の文字に、振替機関（証券保管振替機構）で指定されていない漢字等が含まれている場合には、その全部または一部を振替機関が指定した文字に置き換えのうえ、株主名簿にご登録いたします。この場合、株主様にお送りする通知物の宛名は、振替機関が指定した文字となりますのでご了承ください。

#### 【ご参考】

株券電子化に関する詳細につきましては、証券決済制度改革推進センターのホームページに掲載されたQ&A (<http://www.kessaicenter.com/kaikaku/kabuken10aa.pdf>) 等をご参照ください。

また、株券電子化に関するご質問・ご相談は、「株券電子化」なんでも相談窓口（「株券電子化コールセンター<sup>(\*)</sup>」）TEL 0120-77-0915

（通話料無料。平日・土曜/9:00~17:00）までお問い合わせください。

(\*) 株券電子化コールセンターは、(株)証券保管振替機構、日本証券業協会、(株)東京証券取引所が共同で運営する株券電子化についての相談窓口です。